



江東区

高潮

東京湾に高潮が発生したときの
災害避難地図(想定し得る最大規模)
ハザードマップ

浸水の深さ

避難に関する情報

江東区は、伊勢湾台風級の高潮でも耐えられるように、堤防と水門を整備しています。しかしながら、想定し得る最大規模の高潮が発生した場合には、江東区内でも浸水することが想定されています。

緊急安全確保

災害が発生又は切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとしましょう。

※「警戒レベル4までに必ず避難!」

避難指示

速やかに避難先へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

高齢者等避難

避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児など)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

大雨・氾濫・高潮注意報

避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。

早期注意情報

災害への心構えを高めましょう。

※「警戒レベル5相当、警戒レベル4相当、警戒レベル3相当」など、この「相当」が付く情報は江東区が発信しているのではなく、自治体や警報の情報をもとに国・マスコミなどが発信しているものです。「警戒レベル〇相当」という表現があっても、区から必ず避難指示などを発表するわけではありません。雨や潮位の情報を総合的に判断し、発信します。

※詳細は、江東区洪水高潮ブックレットのP.11-12をご覧ください。

警戒レベル

5

4

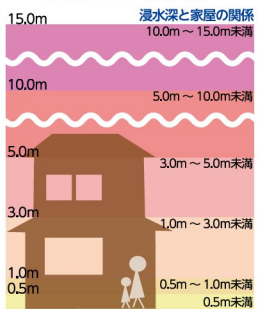
3

2

1

保存版

浸水した場合に想定される水深



凡例(高潮)

- カメラ設置箇所
- 水位観測所
- 主な公共施設
- 避難先
 - 自主避難施設
 - 拠点避難所
- 水害時、特に危険となる箇所
 - アンダーパス

総合情報システム

- 自主避難施設とは
台風などの水害時に住宅の浸水が懸念される場合、自主的な避難を希望する区民を受け入れる施設のこと。文化センター・スポーツセンター等が対象。
- 拠点避難所とは
地震や水害などの災害により、自宅で生活ができなくなった地域住民の生活の場として、区が開設する避難者受入施設のこと。区立小・中学校が対象。

命を守るために
早めの避難を検討!

台風など強い低気圧が襲来すると浪や海面が上昇し、高潮が発生します。あらかじめ浸水しない地域の親戚、知人宅などへの避難を検討しましょう。

命を守る
緊急手段
垂直避難

ご自身の建物・最寄りの避難先(マップに●▲マークがついている施設)の想定される水深より高い場所に避難

おおよその距離と時間を測ってみよう

1000m歩くのに、15分が目安です。
1000m歩くのに必要な時間は、おおよそ15分が目安です。ただし、道路の状況や、ご自身の体力により、さらに時間が必要な場合があります。おおよその距離を測り、必要な時間を把握し、余裕を持った避難を心がけましょう。

東京都高潮浸水想定区域図[想定最大規模](浸水深)

作成主体 : 東京都(港湾局、建設局)
作成年月日 : 令和6年12月
対象とした台風規模
中心気圧 : 910hPa(室戸台風級)
移動速度 : 73km/h(伊勢湾台風級)

江東区では、現在洪水、内水、高潮の3種のハザードマップと、水害時の避難に関する情報や、江東区の治水対策の歴史や洪水氾濫、高潮氾濫のメカニズムなどを掲載している「江東区洪水高潮ブックレット」を公開しています。また、これらハザードマップの情報を音声版として「江東区音声版水害ハザードマップ」に収録しています。合わせてご参考ください。



●水害ハザードマップ(洪水、内水、高潮)

江東区音声版水害ハザードマップ

1 : 25,000

0 0.25 0.5 1 1.5 2 km

高潮氾濫による浸水、排水の想定条件

- 東京湾沿岸において、想定し得る最大規模の台風に伴う高潮氾濫により、波が海岸や河川の堤防を越えた場合や、堤防が壊れた場合を想定しています。
- 高潮氾濫で市街地などに溜まった水は、自然排水や排水施設（排水機場・ポンプ所など）により河川・運河へ排水することを想定しています。
- 排水施設が浸水した場合や、備蓄している燃料が無くなった場合は、排水が出来なくなるとを想定しています。
- 詳細は、東京都の高潮浸水想定区域図のホームページをご確認ください。



東京都の高潮浸水想定区域図のホームページ

保存版

浸水継続時間の凡例

- 1週間以上の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 12時間未満の区域

※色見当りのある人へ配慮した配色としています。
※色合いを変えたものを江東区ホームページに掲載しています。

凡例（高潮）

- カメラ設置箇所
- 水位観測所
- 主な公共施設
- 避難先
- 自主避難施設
- 拠点避難所
- ・地盤が高い
・浸水しない区域
・公園・広場がある
- 水害時、特に危険となる箇所
- アンダーパス
- アンダーパスとは
周辺より低く水が溜まりやすい
ため注意が必要な箇所



東京都高潮氾濫
総合情報システム

避難する時の留意点

- 情報収集しましょう
ラジオ、テレビ、インターネットで最新の情報を収集しましょう。
- 避難の呼びかけに注意を
ラジオ、テレビ、インターネットで最新の情報を収集しましょう。
- 動きやすい
格好がお勧めです
避難の際は、動きやすい格好を心がけましょう。
- 足元に注意！
浸水しているため足元の危険が分りにくくなっています。足元を確認しながら避難しましょう。
- 万が一、逃げ遅れた場合には
ご自宅が、最寄りの公共施設において指定される水浸しより高い場所に避難しましょう。

- 自主避難施設とは
台風などの水害時に住宅の浸水が懸念される場合、自主的な避難を希望する区民を受け入れる施設のこと。文化センター・スポーツセンター等が対象。
- 拠点避難所とは
地震や水害などの災害により、自宅で生活ができなくなった地域住民の生活の場として、区が開設する避難者受入施設のこと。区立小・中学校が対象。

改定年月：令和8年8月 印刷物登録番号（8）41号
編集発行：江東区 土木部 河川公園課 TEL：03（3647）2538
江東区 総務部 危機管理室 防災計画課 TEL：03（3647）9587

おおよその距離と時間を測ってみよう

- 1000m
- 1000m歩くのに、15分が目安です。
- 1000m歩くのに必要な時間は、およそ15分が目安です。ただし、道路の状況や、ご自身の体力により、さらに時間が必要な場合があります。おおよその距離を測り、必要な時間を把握し、余裕を持った避難を心がけましょう。

東京都 高潮浸水想定区域図 [想定最大規模] (浸水継続時間)

作成主体：東京都(港湾局、建設局)
作成年月日：令和6年12月

対象とした台風規模
中心気圧：910hPa(室戸台風級)
移動速度：73km/h(伊勢湾台風級)

江東区では、現在洪水、内水、高潮の3種のハザードマップと、水害時の避難に関する情報や、江東区の治水対策の歴史や洪水氾濫、高潮氾濫のメカニズムなどを掲載している「江東区洪水高潮ブックレット」を公開しています。また、これらハザードマップの情報を音声版として「江東区音声版水害ハザードマップ」に収録しています。合わせてご参考ください。



●水害ハザードマップ
(洪水、内水、高潮)
●洪水高潮ブックレット



江東区音声版
水害ハザードマップ

1：25,000

0 0.25 0.5 1 1.5 2 km